

7月が始まったなあと思ったら、あと1週間で学校は夏休み入る。長期休みは、やらなければならないこととやりたいことの順序が多少入れ替わってもよい▼春から夏、秋から冬の季節の入れ替わりは気温や景色で感じるが、服装でも感じる。春から夏はどんどん薄着になっていく。学校でも来週から、クールビズ対応の服装が解禁になる▼熱中症対策という観点であるが、子どもが一定のルールの中で服装の選択肢が増えた。さらに昨年度のルールも少し緩和されている▼もちろん自由ではない。前任校で体操服の自由化に取り組んだ時、ある先生が「自由ではない。体育にふさわしい服装を子どもとお家の人がいっしょに考えるのだ」と発言された。なるほどと思った▼自由という言葉は自分の中で、正しく使いたいと考えた。今回の解禁によって、選択肢が増えたことを敢えて自由度が増したと言い換える。自分の命を守るために、健康を守るために、自らが選択して服装を決められるようにするためのルールの緩和だ▼学校生活の中に、自分で決めることができる場面がたくさんあるといい。その場面で適切に判断できる子を育てたい▼さて、生徒指導主任に今回のクールビズ実施にあたって、思いついたことを投げかけてみた。それは、やらなければならないことではない。むしろやりたいことだ。「それ！いいっすね！」実現には、その順序が重要である。